

私たちは、「勉強っておもしろい！」を目指して、子どもたちが主体的に学習に取り組む態度の育成を目指します。そのために、以下のような授業展開を行います。

- ① 学習のめあてを子どもが作る→教科書や先生が示した学習のめあてだけで授業を始めるのではなく、子どもが毎時間、自分で自分の学習のめあてを考えることができるようにする。
- ② 学習過程を子どもが作る→指導書や先生が示した学習予定だけで学習を進めるのではなく、子どもが自分で学習過程を考えることができるようにする。
- ③ 分かるまで(できるようになるまで)何度でも自分の学習を振り返り、もっと良い学習の仕方はないかを自分で考え、学習過程を修正しながら繰り返し課題に取り組むことができるようにする。

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策(平成30年度)

第3学年

立川市立第一小学校

	児童の実態 (○いいところ ●課題)	指導方法	具体的な授業改善策
国語	○物語文の読解力が身に付いている。 ○漢字辞典を使って、分からない言葉があればすずんで調べることができる。また、調べた語句に付箋やマーカーをするなど、工夫をしている児童も多い。 ○自らすずんで読書をする児童が多い。	・スキルタイム(金曜日)や隙間の時間に読書するよう声かけした。 ・すぐに読書ができるように、マイブックを手元に置くような指導をした。 ・授業の中でも、分からない言葉を辞書で調べるようにした。	
	●話を聞くときに、何となく聞き、細かいところを聞き落としている児童がいる。 ●新出漢字の学習には積極的だが、習った漢字を日頃から積極的に使うことが少ない。また、小テストでは、高得点でも、50問テストでは得点率が低く、定着していない児童が多い。	・聞く姿勢(手いたずらをしない。話す人の方を見て聞く。等)を確認してきた。 ・家庭学習として、毎日音読をしてきた。 ・新出漢字についてはドリル、ノートを使って学習し、定期的の小テストを行った。学習する漢字の数が多く、繰り返しの学習が不十分であった。	・引き続き、聞く姿勢(手いたずらをしない。話す人の方を見て聞く。等)を徹底させる。 ・新出漢字の学習では、主体的に取り組めるような学習方法を実践していく。
社会	○課題に興味を示し、すずんで学ぼうとする児童が多い。	・町探検や図書館見学など自ら調べたことをまとめられるようにと体験的な学習を多く取り入れた。 ・グループで気付いたことをマップにまとめ、発表する機会を作った。	
	●資料を読み取る力、分かったことをまとめる力を付ける必要がある。	・副読本だけでなく、プリントを用意し、地図などの資料を読み取る方法を指導した。 ・分かったことを発表し合い、板書でまとめ、全体で共有した。	・自分たちの生活に関連付けながら資料を読み取ったり、調べたり考えたりできる学習活動を増やす。
算数	○グラフの読み取りが正確にできる児童が多い。 ○授業中の発言を積極的に言い、いろいろな考えを発表することができる。	・ワークテストやレディネステストの結果を参考にして、習熟度別のクラス分けをし、課題が早く終わった児童には追加のプリントを用意するなど、個々に応じた指導をしてきた。 ・自分のタブレットPCで作った作品等を共有サーバーに保存して全員が見られるようにするなどの協働的な学習を取り入れた。	
	●かけ算・わり算などの計算が苦手な児童が多い。 ●ケアレスミスが目立つ児童が多い。(単位の付け忘れなど)	・問題を解き終わった児童に、計算の再確認や単位の付け忘れがないかなど見直しの声かけを繰り返し伝えてきた。 ・1学期の復習や夏休みの課題では、まとめテストでできていなかった問題を多く取り入れたプリントを作成し、繰り返し同じ問題に取り組むことで学習の定着を図った。	・自主学习等で計算練習の充実をはかるなど、苦手分野の克服を徹底する。 ・授業の最後には、5問テスト等の小テストを行い、理解の徹底を図る。
理科	○実験をすずんで行う児童が多い。 ○観察の視点(色、形、長さなど)をもとに観察し、カードに表すことができる。	・観察カードに観察の際の視点を書き、その視点をもとに観察することができた。 ・実験方法をノートに書かせ、忘れた際も確認できるようにしたため、全員が実験に参加することができた。	
	●実験の結果から結論に結びつかない児童が多くいた。	・話し合いの視点をしっかりと伝え、1問1答にならないようにした。 ・「課題」と、それに対する「予想と根拠」。「実験と結果」「結果から分かったこと」など、ノートの基本的な取り方を指導した。	・結果をまとめる前にもう一度問題や予想に戻り確認することによって実験の結果とそこから言えることを結び付けられるようにする。
音	○曲の気分に合わせて、歌い方を工夫したり、リコーダーの音色に気を付けて演奏したりできるようになってきた。	・曲との出会いを大切に、聴いて感じたことや、どのように歌ったらよいかを考え、自分の言葉で表現できるようにした。 ・互いの歌声を聴き合ったり、グループで合わせたりするなど学習形態を工夫した。	

楽	<ul style="list-style-type: none"> ●リコーダーの技能面の個人差が大きく、苦手意識をもつ児童もいる。 ●音楽を最後まで聴いたり、課題をきちんと捉えて集中して取り組んだりすることが苦手な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習でリコーダーの練習に取り組みさせた。個別指導の時間をつくり、一人一人の実態に合わせて指導した。 ・活動のめあてや活動内容を事前に板書し、見通しをもって活動ができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1音や2音の簡単な運指で演奏できる曲を選び、楽しみながら基礎的な力を伸ばしていけるようにする。 ・家庭学習に取り組むことが難しい児童は、担任とも連携し、休み時間等に個別指導の時間をつくる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ○表現の喜びを感じ、積極的に活動しようとする児童が多い。 ●絵に表したり、道具を使ったりする表現の技能に課題がある児童が少なくない。課題を最後まで聞き取ることが苦手な児童もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に楽しんで取り組める題材を工夫した。制作途中での鑑賞を大切にし、お互いの活動から学び合うことを促した。 ・活動のめあてや活動の過程を明確に示し、表現の技能を少しずつ身に付けられるようにした。 ・個別指導を重視し、児童一人一人がめあてをもって楽しく取り組めるようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作中のメモや授業の振り返りなどから、表現を深められるよう指導する。鑑賞の中で意見を交換する時間をとり、学び合う姿勢を持たせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ○すすんで体を動かしたり、運動したりする姿勢が見られる。 ○集団行動ができる。 ●夢中になると、安全面に配慮できなくなる面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題をもって運動に取り組みさせ、達成感を感じさせる。 ・心一つにして取り組む、楽しさを知る。 ・3分以内に、安全に注意しながら準備をさせる。 ・日頃から、安全、ケガの予防について話をしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の持ち方、運び方などを具体的に教えていく。 ・具体的に、事故がおこりやすい場面を事前に教え指導する。